

# 子どもでもない大人でもない ～思春期の心～

## 【プログラムのねらい】

この年代の子どもたちの心や身体には、大人も驚くべきいくつもの変化が生じます。一步一步大人への階段を上っていきます。この思春期と呼ばれる時期の特徴を把握し、子どもの段階を踏まえた向き合い方について学習します。

## 【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方、◎ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介をします。</li> <li>○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。</li> <li>○自己紹介やゲームを行い、緊張を和らげたり、参加しやすい雰囲気づくりをします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく元気な話し方を心がけます。</li> <li>○今日の学習の思春期に簡単にふれ、プログラムのねらいについて説明します。</li> <li>○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをし、参加を促します。</li> <li>○ゲームなどが終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。</li> <li>○1グループにつき5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。</li> <li>○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「ワーク1」の事例を読み感想を書いてみましょう。</li> <li>○「ワーク2」の活動を説明します。 親から見た子どもの変化について書きます。</li> <li>○「ワーク3」では、今書いてもらったことについてグループで意見交換をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の体験を踏まえて、率直な感想を書くように話します。</li> <li>○子どもの立場から考えて書くように話します。</li> <li>○毎日の生活の中で気付いた子どもの最近の様子を思い起して書くように話します。</li> <li>○なかなか書くことのできない参加者には、小学校低学年の頃の様子と比較して書くように助言します。</li> <li>○答えに「正しい」、「間違っている」ということではないので、考えたことを積極的に話してほしいこと、また、お互いの発表を共感的に受け止めるようにしてほしいことを話します。</li> </ul>

	○「ワーク4」の活動を説明します。	○話し合いの中から自分（の家庭）なりの子どもの向き合い方のヒントが見つければよいことを話します。 ○ワーク3と同じ展開で進めます。
まとめ 10分	◎今日の学習のまとめをしましょう。 ○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり) ○発表してもらいます。	○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。 ○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。 ○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。 ○参加者に中学校の頃の自分を振り返らせ、親や大人をどう思っていたのか、どう接してほしかったのかについて考えてもらい、自分の体験をもとに子どもとの向き合い方について考えるように話しまとめます。

※ 設定時間が短い場合には、ワーク1、3を中心に流れを考えるようにします。

## 資料1

思春期には、難しい問題がたくさん起こり、子どもの問題行動にばかり目がいきがちです。しかし、実際は、揺れる思春期の中で前向きに頑張ろうとする子どもの姿もその中にあります。前向きに頑張ろうとしている子どもの気持ちに気付く親側の心のゆとりも大事です。

## 資料2

### 思春期の子ども心 ～前向きな姿勢を示す子どもたち～

小6の時と中2になっての心の変化（K市立S中学校2年生調査）

#### 《親に対して》

- ・今のほうが学校のことなどたくさん話すようになった。
- ・自分のことを思ってくれているのだからと思えるようになった。また親を尊敬するようになった。
- ・反抗してしまう時もあるけれど、親が大変そうなときは優しくしてあげている。手伝いも自分からしている。

#### 《友人に対して》

- ・あまり悪口を言わなくなった。
- ・いつも一緒にいる何でも話せる大事な友達ができる。真面目な話もするようになった。
- ・友達がどれだけ大切か分かるようになった。

#### 《勉強に対して》

- ・高校に行くために頑張ろうと思う。
- ・面倒くさいと感じている。でも行きたい高校に行くにはと思い、しっかりやるように努力している。
- ・自分から勉強するようになった。